auAMレバレッジNifty50
インド株ファンド

運 用 報 告 書（全体版）

第２期

（決算日 2026年６月１日）

（作成対象期間 2025年５月31日～2026年６月１日）

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	無期限	
運用方針	auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、Nifty50指数先物（米ドル建て）の日々の値動きの２倍程度となることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券
	auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド	株価指数先物取引、外国為替予約取引、指数連動有価証券、内外の短期国債
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	・分配対象額は、経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を含みます。）および売買益（評価益を含みます。ただし、マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を除きます。）等の全額とします。 ・原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者の皆様へ

平素より格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、Nifty50指数先物（米ドル建て）の日々の値動きの２倍程度となることを目指しております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

auアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区西神田三丁目2番1号

ホームページ

https://www.kddi-am.com/

お問い合わせ先 03-5657-7185

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			Nifty50指数先物（米ドル建て）		株式先物比率	公社債組入比率	純資産総額
	(分配落)	税引前分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
（設定日）	円	円	%			%	%	百万円
2024年５月31日	10,000	－	－	10,000	－	－	－	89
１期(2025年５月30日)	10,141	0	1.4	10,292	2.9	198.2	27.4	2,552
２期(2026年６月１日)	7,809	0	△23.0	9,234	△10.3	201.5	43.9	1,587

（注１）設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、期末の基準価額（税引前分配金含む）を設定日の基準価額で除して算出したものです。
（注２）設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
（注３）Nifty50指数先物（米ドル建て）は、Nifty50指数先物（米ドル建て）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000としてauアセットマネジメントが計算したものです。
（注４）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注５）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注６）株式先物比率は買建比率－売建比率です。
（注７）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式先物比率」、「公社債組入比率」は、実質組入比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況等の推移

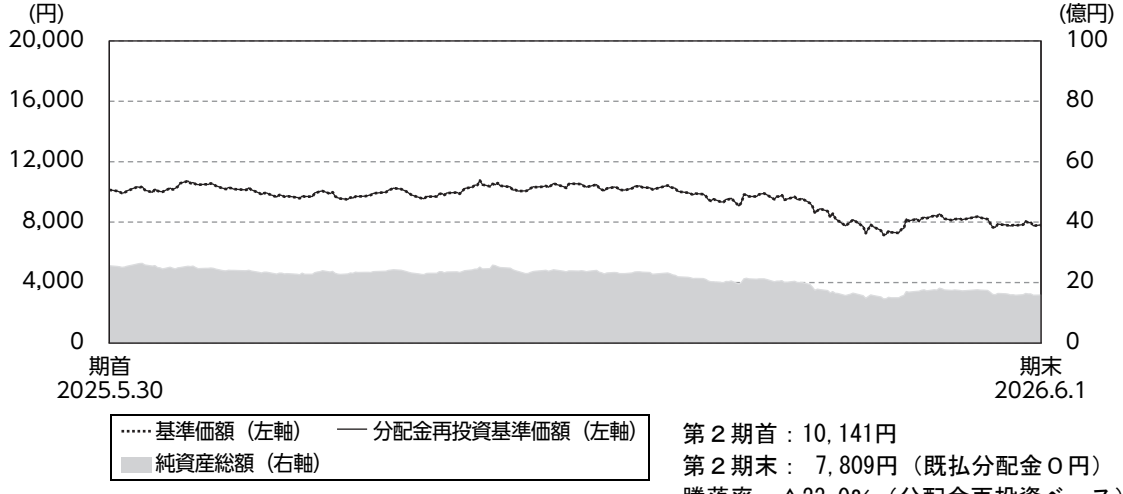
年　月　日	基準価額		Nifty50指数先物（米ドル建て）		株式先物比率	公社債組入比率
		騰落率	（参考指数）	期中騰落率		
	円	%			%	%
（期　首）2025年５月30日	10,141	－	10,292	－	198.2	27.4
６月末	10,723	5.7	10,579	2.8	202.5	27.5
７月末	9,935	△ 2.0	10,125	△ 1.6	201.5	29.8
８月末	9,562	△ 5.7	10,052	△ 2.3	202.3	30.8
９月末	9,585	△ 5.5	10,049	△ 2.4	201.3	30.8
10月末	10,411	2.7	10,481	1.8	201.4	28.0
11月末	10,546	4.0	10,552	2.5	201.1	29.3
12月末	10,161	0.2	10,360	0.7	199.1	30.6
2026年１月末	9,581	△ 5.5	10,058	△ 2.3	200.1	33.9
２月末	9,544	△ 5.9	10,035	△ 2.5	198.7	34.9
３月末	7,154	△29.5	8,796	△14.5	201.6	47.8
４月末	8,227	△18.9	9,410	△ 8.6	201.0	40.1
５月末	7,763	△23.4	9,301	△ 9.6	202.6	44.2
（期　末）2026年６月１日	7,809	△23.0	9,234	△10.3	201.5	43.9

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）Nifty50指数先物（米ドル建て）は、Nifty50指数先物（米ドル建て）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000としてauアセットマネジメントが計算したものです。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）株式先物比率は買建比率－売建比率です。
（注６）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式先物比率」、「公社債組入比率」は、実質組入比率を記載しております。

当ファンドは、NSE INDICES LIMITEDが発起、保証、販売または販売促進を行っているものではありません。NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの所有者または一般のいかなる人に対しても、有価証券全般または当ファンドへの投資の妥当性、あるいはNifty50指数のインド株式市場全体のパフォーマンスへの連動性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証を行いません。NSE INDICES LIMITEDとauアセットマネジメント株式会社との関係は、NSE INDICES LIMITEDが、auアセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に決定、構築および算出を行う指数と指数に関連する商標および商号についての使用を許諾することだけでしかありません。NSE INDICES LIMITED は、Nifty50指数の決定、構築および計算に関して、auアセットマネジメント株式会社または当ファンドの所有者の要望を考慮する義務を負いません。NSE INDICES LIMITED は、当ファンドの設定に関してその時期、価格もしくは数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与もしていません。NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの管理、販売または取引に関していかなる義務または責任も負いません。NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数とそれに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではなく、その誤り、欠落、障害に対していかなる責任も負わないものとします。NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数またはそれに含まれるデータの利用により、auアセットマネジメント株式会社、当ファンドの所有者、またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。NSE INDICES LIMITEDは、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつNifty50指数またはそれに含まれるデータに関して、商品性または特定の目的または使用に対する適合性のすべての保証を明示的に否認します。上記に関わらず、NSE INDICES LIMITEDは、いかなる直接的、特別の、懲罰的、間接的または結果的損害（逸失利益を含む）も含めて、本ファンドに起因または関連するあらゆる請求、損害または損失について、たとえそれらの可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

■運用経過

□基準価額等の推移について



第２期首：10,141円
第２期末： 7,809円（既払分配金０円）
騰落率：△23.0%（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

□基準価額の主な変動要因

auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、Nifty50指数先物（米ドル建て）の日々の値動きの２倍程度となることを目指した運用を行った結果、当期の基準価額・分配金再投資基準価額は△23%下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

□投資環境について　（2025年５月31日～2026年６月１日）

＜株式市況＞

インド株式市況は、期初より堅調な内需や企業業績、インフレ率の安定などを背景に、2025年秋頃にかけて上昇しました。その後は高値圏で一進一退の推移となりましたが、2026年に入ると、米国との貿易協定が合意し、相互関税の税率が引き下げられたことが下支えとなり上昇しました。２月末には中東情勢の緊迫化を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、原油価格の上昇が警戒されたことなどから、大きく下落しました。その後は、中東情勢の緊張緩和や米国とイランの紛争の早期終結への期待、米国との貿易交渉進展への期待などを背景に反発する場面も見られましたが、期末にかけては中東情勢の先行きに対する警戒感などから上値の重い展開となりました。

□ポートフォリオについて

＜当ファンド＞

当ファンドの運用方針に基づき、auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、Nifty50指数先物（米ドル建て）の日々の値動きの２倍程度となることを目指した運用を行いました。

＜auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド＞

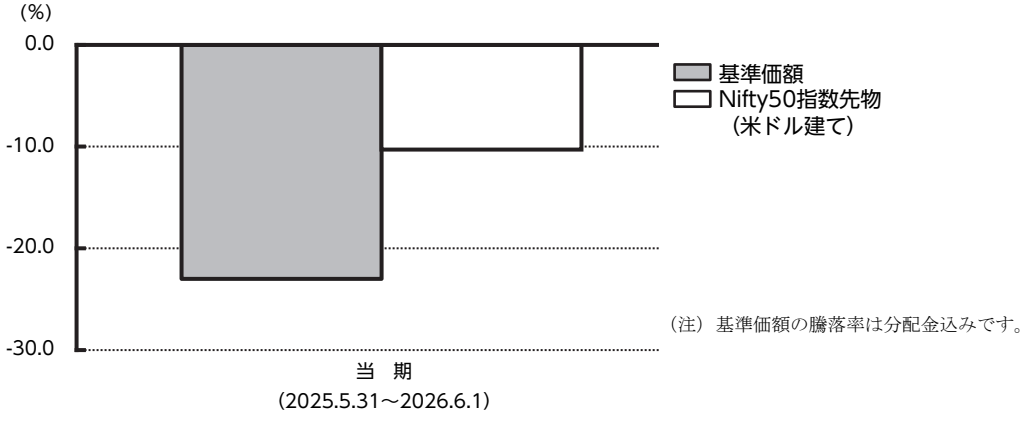
株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として、信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整しました。また、コール・ローン等による運用も行いました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

インドの株価指数先物取引については、Nifty50指数先物（米ドル建て）を利用しました。株式への直接投資は行っておりません。

□ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

□分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

＜分配原資の内訳（１万口当り）＞

項目	当期
	2025年５月31日～2026年６月１日
当期分配金（税引前）（円）	0
（対基準価額比率）（%）	(0.00)
当期の収益（円）	－
当期の収益以外（円）	－
翌期繰越分配対象額（円）	0

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

＜当ファンド＞

当ファンドの運用方針に基づき、auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、日々の基準価額の値動きがNifty50指数先物（米ドル建て）の値動きの２倍程度となることをめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

＜auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド＞

主として、Nifty50指数先物（米ドル建て）を買い建てます。株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として、信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがNifty50指数先物（米ドル建て）の値動きの２倍程度となることをめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■１万口当りの費用の明細

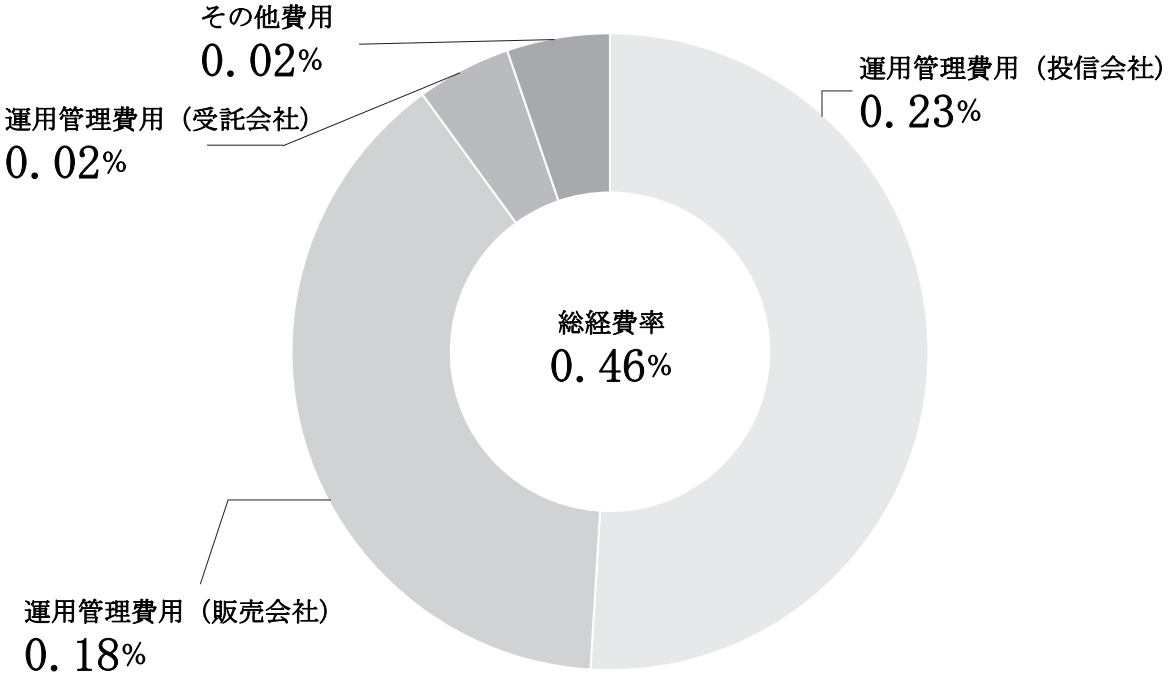
項目	当期（2025．5．31～2026．6．1）		項目の概要
	金額（円）	比率（%）	
運用管理費用（信託報酬）	**42円**	**0.436%**	運用管理費用（信託報酬）＝当期中の平均基準価額×信託報酬率 **当期中の平均基準価額は9,534円です。**
（投信会社）	（ 22）	（ 0.234）	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	（ 17）	（ 0.179）	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	（ 2）	（ 0.022）	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	**51**	**0.538**	売買委託手数料＝当期中の売買委託手数料／当期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	（ 51）	（ 0.538）	
有価証券取引税	**－**	**－**	有価証券取引税＝当期中の有価証券取引税／当期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	**2**	**0.024**	その他費用＝当期中のその他費用／当期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 2）	（ 0.024）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 0）	（ 0.000）	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	**95**	**0.997**	

（注１）当期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.46%です。**



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2025年５月31日から2026年６月１日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド	757,504	718,200	1,247,255	1,199,900

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2025年５月31日から2026年６月１日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド	2,519,454	2,029,703	1,577,282

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年６月１日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド	1,577,282	98.8
コール・ローン等、その他	19,813	1.2
投資信託財産総額	1,597,095	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、６月１日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝159.46円です。
（注３）auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産（△703,907千円）の投資信託財産総額（1,587,159千円）に対する比率は、△44.4％です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2026年６月１日現在

項　　目	当 期 末
(A) 資　　産	1,597,095,674円
コール・ローン等	17,813,092
auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド（評価額）	1,577,282,582
未　収　入　金	2,000,000
(B) 負　　債	9,159,311
未　払　解　約　金	4,742,872
未　払　信　託　報　酬	4,147,914
そ　の　他　未　払　費　用	268,525
(C) 純　資　産　総　額（Ａ－Ｂ）	1,587,936,363
元　　本	2,033,461,567
次　期　繰　越　損　益　金	△　445,525,204
(D) 受　益　権　総　口　数	2,033,461,567口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	7,809円

（注１）期首における元本額は2,517,021,049円、当期中における追加設定元本額は1,888,164,753円、同解約元本額は2,371,724,235円です。
（注２）当期末の計算口数当りの純資産額は7,809円です。

■損益の状況

当期　自2025年５月31日　至2026年６月１日

項　　目	当　　期
(A) 配　当　等　収　益	140,107円
受　取　利　息	140,107
(B) 有　価　証　券　売　買　損　益	△383,391,517
売　　買　　益	111,416,274
売　　買　　損	△494,807,791
(C) 信　託　報　酬　等	△　9,931,933
(D) 当　期　損　益　金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	△393,183,343
(E) 前　期　繰　越　損　益　金	△ 14,893,392
(F) 追　加　信　託　差　損　益　金	△ 37,448,469
（配　当　等　相　当　額）	（△　1,426,732）
（売　買　損　益　相　当　額）	（△ 36,021,737）
(G) 合　　計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	△445,525,204
次　期　繰　越　損　益　金（Ｇ）	△445,525,204
追　加　信　託　差　損　益　金	△ 37,448,469
（配　当　等　相　当　額）	（△　2,853,173）
（売　買　損　益　相　当　額）	（△ 34,595,296）
繰　越　損　益　金	△408,076,735

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「分配金の計算過程」をご参照ください。

分配金の計算過程

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	0円
(c) 収益調整金	0円
(d) 分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額（a＋b＋c＋d）	0円
(f) 分配対象額（１万口当たり）	0.00円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金（１万口当たり）	0円

■お知らせ

該当事項はございません。

収益分配金のお知らせ	
１万口当り分配金	０円

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド

運用報告書　第２期（決算日　2026年６月１日）

（作成対象期間　2025年５月31日～2026年６月１日）

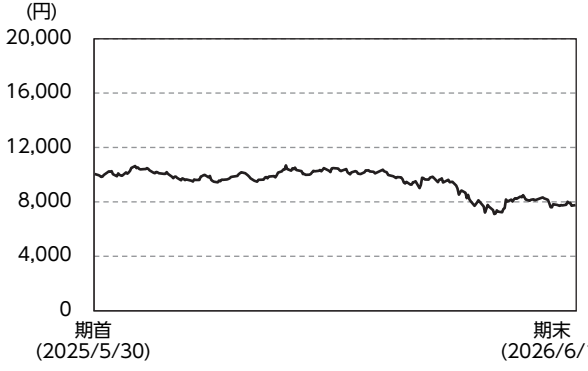
auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

運　用　方　針	Nifty50指数先物（米ドル建て）の日々の値動きの２倍程度となることを目指して運用を行います。
主要投資対象	株価指数先物取引、外国為替予約取引、指数連動有価証券、内外の短期国債
株式組入制限	無制限

auアセットマネジメント株式会社
東京都千代田区西神田三丁目2番1号
ホームページ
https://www.kddi-am.com/

■当期中の基準価額と市況等の推移



年　月　日	基準価額		Nifty50指数先物（米ドル建て）		株式先物比　率	公社債組入比率
		騰落率	(参考指数)	期　中騰落率		
	円	%			%	%
(期　首)2025年５月30日	10,056	－	10,292	－	199.7	27.6
６月末	10,639	5.8	10,579	2.8	203.1	27.6
７月末	9,858	△ 2.0	10,125	△ 1.6	202.4	29.9
８月末	9,491	△ 5.6	10,052	△ 2.3	202.6	30.9
９月末	9,518	△ 5.4	10,049	△ 2.4	201.9	30.9
10月末	10,344	2.9	10,481	1.8	202.1	28.1
11月末	10,482	4.2	10,552	2.5	201.4	29.4
12月末	10,102	0.5	10,360	0.7	199.9	30.7
2026年１月末	9,525	△ 5.3	10,058	△ 2.3	201.4	34.1
２月末	9,492	△ 5.6	10,035	△ 2.5	199.5	35.0
３月末	7,112	△29.3	8,796	△14.5	202.7	48.0
４月末	8,187	△18.6	9,410	△ 8.6	202.2	40.4
５月末	7,725	△23.2	9,301	△ 9.6	203.9	44.5
(期　末)2026年６月１日	7,771	△22.7	9,234	△10.3	202.9	44.2

（注１）騰落率は期首比です。
（注２）Nifty50指数先物（米ドル建て）は、Nifty50指数先物（米ドル建て）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000としてauアセットマネジメントが計算したものです。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

■運用経過

□基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首時：10,056円　期末時：7,771円

騰落率：△22.7％

【基準価額の主な変動要因】

株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整し、日々の基準価額の値動きがNifty50指数先物（米ドル建て）の値動きの２倍程度となることを目指した運用を行った結果、当期の基準価額・分配金再投資基準価額は△22.7％下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

□投資環境について

＜株式市況＞

インド株式市況は、期初より堅調な内需や企業業績、インフレ率の安定などを背景に、2025年秋頃にかけて上昇しました。その後は高値圏で一進一退の推移となりましたが、2026年に入ると、米国との貿易協定が合意し、相互関税の税率が引き下げられたことが下支えとなり上昇しました。２月末には中東情勢の緊迫化を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、原油価格の上昇が警戒されたことなどから、大きく下落しました。その後は、中東情勢の緊張緩和や米国とイランの紛争の早期終結への期待、米国との貿易交渉進展への期待などを背景に反発する場面も見られましたが、期末にかけては中東情勢の先行きに対する警戒感などから上値の重い展開となりました。

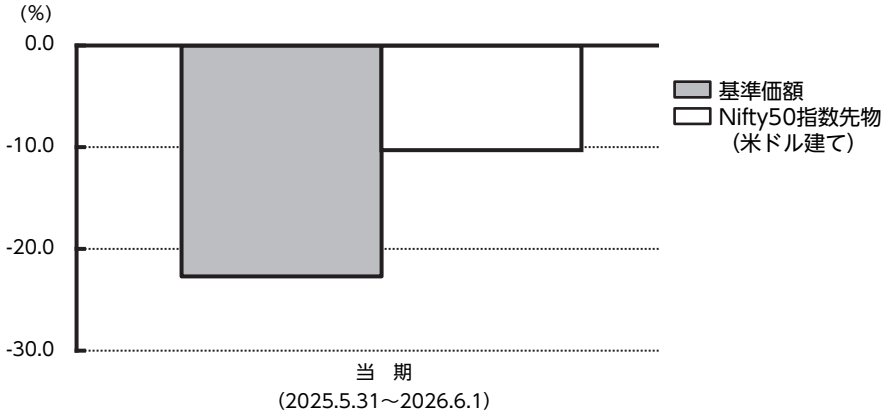
□ポートフォリオについて

株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として、信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整しました。また、コール・ローン等による運用も行いました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

インドの株価指数先物取引については、Nifty50指数先物（米ドル建て）を利用しました。株式への直接投資は行っておりません。

□ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



■今後の運用方針

主として、Nifty50指数先物（米ドル建て）を買い建てます。株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として、信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがNifty50指数先物（米ドル建て）の値動きの２倍程度となることをめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■１万口当りの費用の明細

項　　目	当　期
売買委託手数料	51円
（先物・オプション）	(51)
有価証券取引税	－
その他費用	0
（その他）	(0)
合　　計	51

（注１）費用の項目および算出法については前掲の「１万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
（注２）項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

（１）公社債

(2025年５月31日から2026年６月１日まで)

		買　付　額	売　付　額
		千円	千円
国内	国債証券	1,393,631	1,399,899
			(－)

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）単位未満は切捨て。

（２）先物取引の種類別取引状況

(2025年５月31日から2026年６月１日まで)

種　類　別		買　建		売　建	
		新規買付額	決　済　額	新規売付額	決　済　額
		百万円	百万円	百万円	百万円
外国	株式先物取引	57,238	59,119	－	－

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

（2025年５月31日から2026年６月１日まで）

銘柄別			買建		売建		作成期末評価額		
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
			百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
外国	株式	IFSC NIFTY 50 FUT（インド）	57,238	59,119	－	－	3,200	－	△2

（注）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

（１）公社債

（2025年５月31日から2026年６月１日まで）

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
1311国庫短期証券	698,677	1296国庫短期証券	699,952
1345国庫短期証券	694,953	1311国庫短期証券	699,946

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

（２）先物取引の銘柄別取引状況

銘柄別		当期末	
		買建額	売建額
		百万円	百万円
外国	IFSC NIFTY 50 FUT	3,200	－

（注１）外貨建の評価額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

（１）国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当期末						
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	700,000	697,527	44.2	－	－	－	44.2
	(700,000)	(697,527)	(44.2)	(－)	(－)	(－)	(44.2)
合計	700,000	697,527	44.2	－	－	－	44.2
	(700,000)	(697,527)	(44.2)	(－)	(－)	(－)	(44.2)

（注１）（ ）内は非上場債で内書き。
（注２）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注３）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注４）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（２）国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区分		銘柄	当期末 年利率	額面金額	評価額	償還年月日
			%	千円	千円	
国債証券		1345国庫短期証券	－	700,000	697,527	2026/11/20
合計	銘柄数	1銘柄				
	金額			700,000	697,527	

（注）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年６月１日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	697,527	43.9
コール・ローン等、その他	889,632	56.1
投資信託財産総額	1,587,159	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、６月１日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝159.46円です。
（注３）当期末における外貨建資産（△703,907千円）の投資信託財産総額（1,587,159千円）に対する比率は、△44.4％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年６月１日現在

項　目	当期末
(A) 資産	3,833,737,283円
コール・ローン等	209,450,307
公社債（評価額）	697,527,004
未収入金	2,258,528,950
差入委託証拠金	668,231,022
(B) 負債	2,256,438,031
未払金	2,254,438,031
未払解約金	2,000,000
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	1,577,299,252
元本	2,029,703,491
次期繰越損益金	△ 452,404,239
(D) 受益権総口数	2,029,703,491口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	7,771円

（注１）期首における元本額は2,519,454,151円、当期中における追加設定元本額は757,504,456円、同解約元本額は1,247,255,116円です。
（注２）当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、auAMレバレッジNifty50インド株ファンド2,029,703,491円です。
（注３）当期末の計算口数当りの純資産額は7,771円です。

■損益の状況

当期　自2025年５月31日　至2026年６月１日

項　目	当　期
(A) 配当等収益	△ 21,282,845円
受取利息	6,876,530
支払利息	△ 28,159,375
(B) 有価証券売買損益	13,367,101
売買益	130,642,652
売買損	△117,275,551
(C) 先物取引等損益	△466,680,404
取引益	484,320,331
取引損	△951,000,735
(D) その他費用	△ 5,940
(E) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	△474,602,088
(F) 前期繰越損益金	14,147,189
(G) 解約差損益金	47,355,116
(H) 追加信託差損益金	△ 39,304,456
(I) 合計（Ｅ＋Ｆ＋Ｇ＋Ｈ）	△452,404,239
次期繰越損益金（Ｉ）	△452,404,239

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■お知らせ

該当事項はございません。